

平成29年度第1回市川市大町レクリエーションゾーン協議会議事録

開催日時 : 平成29年5月30日(火)午後2時00分から

開催場所 : 動植物園内管理棟1F会議室

出席者 : 委員 加藤武央委員・石原みさ子委員・淡路洋・竹内一雄・大澤徳一委員・
裕丸房雄委員・井上好子委員・時田正一委員・武藤晃委員・高橋ひろ子委員
所管課 水と緑の部 部長部長
宮間次長
動植物園 岩井園長・河合副参事・事務局担当3名
関係課 教育委員会 生涯学習部 青少年育成課 野村課長 他担当1名
教育委員会 生涯学習部 考古博物館 須藤館長 他担当1名

宮川) 御揃いの様なので、定刻より若干早いのですが始めさせていただきます。それでは只今から、平成29年度第一回市川市大町レクリエーションゾーン協議会を開催させていただきます。

本日は10名の委員の方全員の出席を頂いていますので「レクリエーションゾーン協議会条例」第8条第2項に定める定足数に達しており、本会議は成立しました。また、本日の協議会につきましては傍聴希望の方はおられません。

それでは本日の議題ですが、(1)「平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画について」、(2)「その他」です。それではここで、4月の人事異動で事務局の職員も変更となりましたので、改めて事務局職員を紹介させていただきます。

…事務局紹介…

ここからの議事進行につきましては、竹内会長にお願い致します。

竹内会長) それでは、平成29年度第一回市川市大町レクリエーションゾーン協議会を開催致します。

(1)「平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画」について、事務局から説明をお願いします。

須藤) 考古博物館長、須藤です。28年度事業の実績及び29年度の事業計画につきましては、自然博物館長石井よりご報告させていただきます。

石井) …平成28年度事業実施状況及び平成29年度事業計画説明…

野村) …自然の家職員紹介…

富田) …平成28年度事業実施状況及び平成29年度事業計画説明…

岩井) …平成28年度事業実施状況及び平成29年度事業計画説明…

石原委員) 8月20日の開園30周年記念式典の具体的な内容は。

岩井) くす玉割り、消防隊の吹奏楽、市立第五中の演奏会等及び市長や来賓を招いての式典形式。

石原委員) 入場無料の予定はあるか。

岩井) 小中学生は無料。

竹内会長) 自然公園の整備事業で、機械を使用しないのはどうなのか。整備の進み具合としては効率が悪いと思うが、その辺を聞かせて欲しい。

石井) まだ草刈りは未契約。今後、契約した業者が機械を入れて動植物園の所管で草刈りを行う予定。樹木伐採は太いものを学芸員の指示の元で30本程伐採。観察園の遊歩道両端の葎等は、所々自生している絶滅危惧種等を刈ってしまう危険性を考えて、非常に効率は悪いが学芸員の指導下で棒鎌でやっている。機械を入れる事は難しいので人力で行く予定。

高橋委員) 狭い場所なので在来種への影響が凄く大きい。7月位まで繁殖期で状況の変化による影響が大きいので、学芸員の配慮は良かった。今の所はゆっくりでも見守っていたら良いと思う。

須藤) 一概に機械を利用しない訳で無く、場所と季節に応じて。動植物園の業務委託契約が終わっていない事と、繁殖時期や貴重な植物を守る必要がある場所は人力で作業をする。学術的優先度だけで無く、学芸員の方も利用者が快適に感じる形での管理を、という適切な管理への配慮は互いにしている。

岩井) 動植物園での草刈り事業は、現在の予定は夏冬各1回の年2回。区域をずらして2回の形。

加藤委員) 動植物園の資料5では、この5年間で24万7,000人位がピーク。この25万人近くが動植物園のピークなのか。何か一つあると来園者は増えるが、職員が色々動物の見せ方や趣向を変えると20~30万人位は来るのではないか。行徳地区から向こう側には市川の動植物園が知られていないからこの位なのか、それとも25万人位が集客の限度なのか伺いたい。

岩井) 24~25年度はカワウソの関係での来園者増と思う。現在も連休や日曜・祝日は来園者が多いので、平日や夏場の来園者増をもう少し検討しなければ、と感じている。夏場の快適性を上げる為に日除けを設置する等の取り組みやPR等を考えており、今後も集客力向上に繋がる展示の工夫や色々なイベントの組み合わせを考えている。

加藤委員) 25万人位を超えてもある程度キャパシティはある、と。視察した鹿児島動物園も、所々にベンチが日陰になる工夫等で高齢者の来園が結構多いという事と、駐車場が大きくて交通の便が良く、交通が整備されている事から来る集客量もあると思う。市川大野駅からバスで来園したくてもタクシーを勧められる位バスの本数が無いので、もう少し交通の足も市の方に要望を出す事を考慮して欲しい。

大澤委員) 学芸員の学校への出前授業は増えているか、減っているか。学校の授業は教員がやるべきだと思っているが、ずいぶん出張授業をしている感じがする。その辺はどうなのか。

石井) 学芸員の小中学校等での講義回数は年々増加している。現在学芸員の人数的には手一杯なのもあって、学校間で重ならないよう調整して行っている。

大澤委員) 小学校と中学校のどちらが多いか。

石井館長) 小学校が多い。

大澤委員) 自然に対する関心の薄れを感じていたの、先生方にもう少しその辺をしっかりとやって貰わなくてはいけないのかと感じて質問させてもらった。

須藤) 補足。団塊の世代が大量に退職し、学校教員の経験が10年未満という若年層が非常に増えている。市でも学校教員の育成について非常に悩んでいる中、博物館から学校への出前授業だけではなく、教職員の活動や資料の貸出、カリキュラム作成の相談に乗る等もしている。それ以外に、今年度は現在19校が利用予定の少年自然の家の小学校4年生宿泊体験の時に、自然観察園の普段入れない湿地に下りて実際に生き物に触れ合う体験を必ずしている為、市川市の小学生は他市に比べ少しずつだが自然との触れ合いの経験を継続的に受けている。生徒と一緒に自然体験をした教職員と博物館が連携し、色々と学校の方からも出向いてもらえれば、という事で少しずつ利用が増えている。

井上委員) 自然博物館の親子観察の回数はどこで決めているのか。こちらでの計画か？

石井) はい。

井上委員) 親子観察会は4回？

須藤) 親子観察会の4回計画で実施2回は、天候の問題で簡易・安全な観察が出来ない等、止むを得ない中止を含む。年間の計画回数については、真夏や真冬等の快適に観察出来ない場合は若干回数を減らして気候の良い時期に主催事業、土日にいずれかの行事、平日は学校の対応、と野外の状況を踏まえて計画し実施している。

井上委員) 計画しても2回しか出来なかった、という事。

竹内会長) 他にも不明な点や自分はこの辺が分からない、という事があればお聞き願いたい。

井上委員) 大町レクリエーションゾーンで、一番集客があるのは動植物園？

竹内会長) 一番の集客率は動植物園だと思う。ただ、それが頭打ちになっては良くないので、どう集客していくかが今後の課題。常に同じ事ではマンネリ化する。こちらは小動物中心だが、他の動物園も全国的には大型動物も少し減りつつある傾向があるのではないか。その辺はいかがか？

河 合) 一時かなり下降していたが、最近は少し下降度合が緩やかになってきた傾向。以前の集客の大半は子供だったが、数年前から大人の為の展示等、集客の工夫が出てきている。他園では行動展示による大人の入園者増が大人の高い入園料による収益増に結びついている傾向があるが、当園は無料入園者である幼児を含むファミリー層が大半なので、総入園者数が収益に直結しないのが少し難しい。流しかワウソでの収益増要因の一つに大人の入園者増があり、最近はSNSに上げた話題で来園される方もいる。収益を上げる事が動植物園の本来の目的だとは思わないが、大人以外に従来のファミリー層も入園者数を増やす努力をして行きたい。

昨年度位から幼児向け遊具や手作り遊具を増やしたり、来園者同士の聞き伝手の情報を流す事やネット上での情報を増やす等の工夫で集客に繋げて行きたいと考えている。一発を狙うのではなく、地道な活動を続けていくのが一番かと考えている。未就学児の団体だけでなく、高齢者向けの日陰やベンチ関係等の充実も大切にする等、動物以外にも色々な面での工夫に知恵を絞っている段階。

加藤委員) 公民館等での絵葉書や俳句等のサークル活動を、動物や動植物園の絵のコンクール等で引っ張り出すのも一つの手だと思う。要望として考えて。

石原委員) 集客については、先年視察先のアンデルセン公園は入園者数が大幅増加しているので、行かれた職員も学んで来た事を生かし動植物園の集客に繋げて欲しい。大町公園の整備だが、今年度は整備に十分な予算が付いたので、計画を立ててやって欲しいと思う。何月に何をやるか決まっているのか。

岩 井) 水路の整備は 9 月頃入札、秋位に整備という計画を考えている。草刈りについては、先程の通り夏と冬の 2 回やっていく予定。

石原委員) 貴重な絶滅危惧種の動植物等にも配慮した上で、来園者が安全に気持ち良く過ごせる場所にする、という気概で取り組んで欲しい。

岩 井) 水路整備も、湿地帯は重機が入れない関係で人力でやっている。かなり短距離でも高額になるので、今年度の予算が必ずしも十分とは言えない分もあるかと思うが、その場合は来年に整備されるようにして行きたい。

高橋委員) 谷津の周りの斜面も、木の根が露出して崩れ始めている。遊歩道の側にも根が出て、かなり落葉があるような所も、徐々にやらないと大雨で倒木の心配もあると思う。

岩 井) 斜面林は今年度の予算ではそこまでの金額が付いていないので、自然博と協議・連携しながら自力で行い、来年度以降は年次計画を立て順にやって行こうと考えている。

竹内会長) 他に無いようなら議題 (2) 「その他」に入ります。それでは、お願いします。

宮 川) 議題 (2) 「その他」については、特に無し。

竹内会長) 無いようなら、29 年度第一回大町レクリエーションゾーン協議会は終了で宜しいですか。

宮 川) …連絡事項。次回協議会の予定及び 30 周年記念式典への出席依頼…

竹内会長) 会議中の色々なご意見を出来るだけ反映して行きたいと思うので、今後もお協力をお願いしたい。本日はこれで終了致します。ごくろうさまでした。

参加者) ありがとうございます。